

平成 28 年度 事業報告書

社会福祉法人千葉県厚生事業団
養護老人ホームひかり隣保館
ひかり 隣保館訪問介護事業所

養護老人ホームひかり隣保館

1、事業の概況について

(1) 運営の精神「ともにつくる」に沿った運営 —2012（平成24）年度より—



「ともにつくる」とは、養護老人ホームひかり隣保館が「住まい」と「事業所」を合わせた施設であることを認識し、施設の構成者である「入居者」と「職員」が情報を共有しながら協力して運営（施設づくり）を行うことで、ひかり隣保館の価値を高めていくという精神を表したものです。

ソーシャルワークの取組みとして、ケースワーク（個人援助）のみならずコミュニティワーク（住人たちが生活上生じる様々な問題に主体的に取り組み、資源の調達も含めてその解決を目指すことを援助する）を重視しています。入居者たちの社会的活動への参加を促すことにより、住まいの環境や風土の改善、入居者個人や集団の社会性の維持・向上を目指しました。

<ともにつくる活動>

- ① すまいるの会（住まいと生活、行事に関する入居者の意思決定機関）毎月1回、計11回開催
（決定事項）「すまいの予算の執行」「バスハイクの企画」「朝清掃の実施日変更（負担軽減）」
「開業記念日の食事」「環境美化活動（大掃除等）」他多数
（すまいるの会風景）（すまいの予算：トイレハンドドライヤー設置）



- ② すまいの予算（住まいの環境改善のために入居者が100万円を上限に用途を決定できる制度）
平成28年度、入居者の方々は複数の選択肢の中からトイレのハンドドライヤーの設置を選択、ネット業者の提案を採り入れ低コストで発注し、外注することなく設置工事まで行いました。
これにより、入居者の生活に欠かせないトイレにおけるペーパータオルの大量消費を解消することでコスト削減につなげるとともに、ペーパー補充業務を行ってきた担当入居者の負担軽減を達成しました。また、併せてペーパータオル用ごみ箱の撤去を行い、生ごみなどが捨てられるマナー違反の問題を解消いたしました。

ハンドドライヤー購入費：226,620円（税込）※単価25,180円×9台

③その他

朝食後の食堂清掃や娯楽室の清掃（入居者担当部分）について、これまで一部有志の方に行っていただき、任意に先輩から後輩へと受け継がれてきましたが、参加せず無関心の方のほうが多いのが現状でした。より多くの方がすまいの家事労働に関心をもち参加していただくため、東西の棟ごとに入居者に集合していただき、公に担当者を選出しました。その際、掃除を行う機能面では完全でなくとも、「私でよければお手伝いしたい」と手を上げ、参加してくれた方もいらっしゃいました。

また、2F 入居者が居室ごとに輪番制で行っている共用部の清掃について、新規の入居者や心身機能から実行が難しい方が当番となった際にそれをヘルプする担当を併せて選出し、すまいの清掃に係るストレスを軽減することを目指しました。

(成果)

これらの継続的取組によって、入居者の方々にひかり隣保館という「コミュニティ」で暮らす認識をもっていただき、その運営のために協力をいただける風土になっています。また、入居者の方それぞれの社会性の向上にもつながりました。

(2) 処遇

養護老人ホームは、養護に欠ける（身体上、精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において生活できない）方々に対し住まいや食事の提供と自立支援（生活の安定、社会的活動への参加）を行うものです。近年は入所に至った経緯として、認知症、アルコール依存症や統合失調症等の精神疾患をもつ方、虐待を受けた方、社会生活に難のある方、債務のある方などが多い状況です。施設では要介護認定の有無に係わらず「(実生活上の) 見守り支援」を中心に総合的なサービスの提供を行いました。入居者の処遇にあたり、ご家族、行政、医療機関その他の関係者との情報共有に努め、チームワークで粘り強く対応を行い、その解決を目指すスタイルを貫きました。

入居者の生活安定の基礎は「健康管理」にあると考え、協力病院 3 院（辻仲病院柏の葉、流山中央病院、初石病院）の主治医や関係者の方々の協力のもと対応を行いました。また、入居者の飲酒に係る問題（アルコール依存症等）については、柏市保健所とともに対応してまいりました。

10 年ほど前まで全体の 1/3 程度であった男性入居者が増加の一途を辿り、平成 29 年 3 月 31 日現在で入居者の構成は男性 50.6%、女性 49.4%で、初めて男性比率が女性を上回りました。過半数を占めた要因については、高齢者の増加につれて地域生活定着に難のある男性も増加し、相対的に女性より措置の必要性が高まったからではないかと思われます。

ただし、そのような男性の増加は施設（コミュニティ）にも変化をもたらしました。70 代男性を中心に主義主張を繰り返し、暴言や暴力をとまなう行動をみせる者も現れ、喧嘩と受傷により警察の介入を受ける案件も発生するなど、入居者・職員ともに大きな問題となりました。そこで、行政と情報共有しながら、施設の「入居者の遵守事項（規約）」を根拠に、特別な指導を必要とする方には効力を有する文書を用いて指導を行う対応をいたしました。結果的に退所者が 1 名発生したものの、施設は落ち着きを取り戻して年度を締めくくることができました。なお、他の養護老人ホームでも似たような状況にあり、退所者が措置替えにて別の養護に入所する例は増加しています。

上記の経験から、老人福祉法の趣旨のとおり、「心身の健康の保持」「生活の安定」「社会的活動への参加の指導」等を実施し、その人なりの調和した生活を送ることができるよう支援する社会資源として、養護老人ホームが果たすべき責務を再確認いたしました。

入居者の措置実施機関地域比率では千葉県内 48%、東京都内 52%で 3 年連続で県外の方が過半数を占めましたが、県内の比率が幾分戻りました。また新規入居者は 13 名で内訳は柏市が 6 名、その他の県内 2 名、都内 5 名) で柏市からの措置受託が中心となっています。

しかし、入居者数は平成 29 年 3 月 31 日現在で 77 名、短期入所 2 名と相当の定員割れとなりました。原因は新規入所者数は 13 名と前年より 3 名多かったものの、それ以上に退所者数が 17 名と多く、特に特養や他の施設等に入所する人数が多かったことが挙げられます。

感染症について、1 月 4 日からインフルエンザ A 型集団感染が発生、入居者 15 名、職員 1 名が罹患しました。協力病院である辻中病院柏の葉と合同で対応策を検討し、柏市保健所と情報共有しながら対応にあたり、最終的には抗ウイルス薬の一斉内服にて終息を図りました。その経験が無駄にすることなく、新たな対応マニュアルを策定し今後の感染に備えています。

H28.5.18 バスハイク牛久大仏



H28.9.18 敬老祝賀会



(3) 行事

敬老祝賀会を中心に、概ね例年どおり実施。バスハイクは 5 月に通常どおり大型バスを利用して牛久大仏行きましたが、秋の部は試験的に、個人の希望に沿った外出レクを企画しました。近隣のカラオケやボーリング、本土時やものしりしょうゆ館等の観光、又はレストランでお好みの食事を召し上がっていただくなど、細やかに行先の調整を行いました。

ボランティア訪問については、日本舞踊、民謡、歌謡など入居者が親しみやすい種類の演芸を提供していただける団体にご来館いただきました。納涼会（養護・特養共催）は天候に恵まれ予定どおり開催することができました。

(4) 短期入所

措置で短期入所できる制度を有効に活用し、緊急保護や住居を失った方、本入所前の体験入所等に利用していただきました。近年は、本人の住居に同居した息子（娘）から虐待を受けたために当施設に緊急保護短期入所されたものの、次の住まい先を確定するまで入所を継続せざるを得ず入所期間が 1 か月以上にわたるケースが増加しています。平成 28 年度に緊急保護短期入所された方は、延べ 23 名に上りました。

(5) 施設整備

養護老人ホームの施設整備補助事業の設定について、以前に柏市とともに千葉県に要望しておりましたが、11月に改めて柏市高齢者支援課と協議した結果、柏市が補助事業の主体（窓口）となる方針を確認し、補助事業について調整を図り、第8期いきいきプラン（平成33～35年度）の整備計画に基づく施設整備（建替え）を目指していますが、柏市単独での設定はハードルが高く、未だ方針の確認に至っておりません。

(6) ひかり隣保館ホームページ

養護老人ホーム「ひかり隣保館の行事」「ひかり隣保館を支える方々」というページにおいて、学生の方からシニアの方まで、外部からお越しいただいた個人・団体様の活動風景を積極的に公開いたしました。

訪問していただいた方々から「個人名や団体名で検索するとひかり隣保館から閲覧できる」「家族や周りの人たちにも見てもらえて励みになる」等のお言葉をいただきました。

1、平成 28 年度 入所者在籍状況

	各月当初人員			月間延人数	入所		退所	
	男	女	計		男	女	男	女
4 月	39	42	81	2452	1	1	0	0
5 月	41	43	84	2622	2	2	0	0
6 月	42	45	87	2567	0	1	2	2
7 月	40	44	84	2542	0	0	1	0
8 月	39	45	84	2591	0	1	0	1
9 月	39	44	83	2490	0	0	0	0
10 月	39	44	83	2542	0	0	0	2
11 月	39	42	81	2457	1	0	0	0
12 月	40	42	82	2526	1	0	1	2
1 月	40	40	80	2475	0	0	0	2
2 月	40	38	78	2753	1	0	2	0
3 月	39	38	77	2348	1	1	1	1
年平均 82.00 人（稼働率 91.1%）				30365	13		17	

2、入退所内訳

	居宅	特養	病院	死亡	その他	計
入所	9		4			13
退所	5	7	3	2		17

3、入所者の性別および年齢階層 ※以後平成 29 年 3 月 31 日現在のデータ

	64 歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 歳以上	計
男性	1	3	12	10	7	2	4	39
女性	1	1	3	9	8	11	5	38
計	2	4	15	19	15	13	9	77

全体平均年齢：80.0 才（64～97 才） 男性平均年齢：75.8 才 女性平均年齢：84.6 才

4、入所者在所年数

	1 年未満	1～2	3～4	5～9	10～14	15～19	20 年以上	計
男性	5	10	9	13	2	0	0	39
女性	5	10	5	12	2	2	2	38
計	10	20	14	25	4	2	2	77

最長入所利用期間は 31 年、平均在所年数は 5.3 年。

5、実施機関別入所状況

区分	男	女	計	
柏市	7	12	19	(県内) 37 人 48.05%
流山市	1	0	1	
我孫子市	0	3	3	
鎌ヶ谷市	4	4	8	
松戸市	1	3	4	
市川市	0	1	1	
千葉市	1	0	1	
足立区	8	3	11	(県外) 40 人 51.95%
江戸川区	0	5	5	
墨田区	4	0	4	
台東区	2	1	3	
荒川区	3	0	3	(新規在籍者) 全 12 人
葛飾区	5	5	10	
西東京市	0	1	1	
豊島区	0	0	0	
北区	1	0	1	
文京区	1	0	1	
新宿区	1	0	1	
渋谷区	0	0	0	
計	39	38	77	

6、身元引受人状況

続柄	
子供	18
兄弟	16
甥・姪	2
遠縁	2
嫁	0
妻	0
孫	1
いところ	0
婿	0
不在	38
計	77

7、入院状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	7	3	8	5	7	8	9	11	8	14	5	9	94

8、外泊状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	2	4	3	2	3	2	2	2	4	5	1	1	31
延日数	18	10	4	4	10	4	2	4	7	29	1	2	95

9、面会状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	14	25	22	23	27	12	34	21	29	16	17	21	261
人数	16	30	31	29	35	12	36	30	36	18	17	26	316

10、入所者収入および費用徴収金支払い状況

	階層区分（収入）	費用徴収金額	人数		階層区分（収入）	費用徴収金額	人数
1	0～270,000	0	29	21	680,001～720,000	34,100	3
2	270,001～280,000	1,000	0	22	720,001～760,000	37,500	2
3	280,001～300,000	1,800	0	23	760,001～800,000	39,800	2
4	300,001～320,000	3,400	0	24	800,001～840,000	41,800	2
5	320,001～340,000	4,700	0	25	840,001～880,000	43,800	0
6	340,001～360,000	5,800	2	26	880,001～920,000	45,800	2
7	360,001～380,000	7,500	1	27	920,001～960,000	47,800	2
8	380,001～400,000	9,100	2	28	960,001～1,000,000	49,800	1
9	400,001～420,000	10,800	1	29	1,000,001～1,040,000	51,800	2
10	420,001～440,000	12,500	0	30	1,040,001～1,080,000	54,400	2
11	440,001～460,000	14,100	1	31	1,080,001～1,120,000	57,100	0
12	460,001～480,000	15,800	1	32	1,120,001～1,160,000	59,800	1
13	480,001～500,000	17,500	0	33	1,160,001～1,200,000	62,400	4
14	500,001～520,000	19,100	0	34	1,200,001～1,260,000	65,100	0
15	520,001～540,000	20,800	0	35	1,260,001～1,320,000	69,100	3
16	540,001～560,000	22,500	0	36	1,320,001～1,380,000	73,100	3
17	560,001～580,000	24,100	0	37	1,380,001～1,440,000	77,100	1
18	580,001～600,000	25,800	0	38	1,440,001～1,500,000	81,100	3
19	600,001～640,000	27,500	0	39	1,500,001 円以上	最大 140,000	5
20	640,001～680,000	30,800	2			合 計	77

11、入所者収入源

1	国民年金	19
2	厚生年金	11
3	障害年金	2
4	共済	1
5	年金 2 種以上	19
6	法外援護金※1 (内 生活支援金※2 受給者)	25 (13)
	合 計	77

※1 法外援護金は柏市より支給（4,700 円／月）

※2 生活支援金は施設事業費より支給（3,000 円／月）

12、老人ホーム入所者 措置要否判定調書 集計 ※以後平成 28 年 4 月 1 日現在のデータ

1 日常生活の活動状況

	自 分 で 可	一 部 介 助	全 介 助
歩 行	67 人	7 人	5 人
排 泄	70 人	6 人	3 人
食 事	75 人	3 人	1 人
入 浴	50 人	24 人	5 人
着脱衣	59 人	16 人	4 人

2 寝たきり度

ランク J : 38 人 A : 36 人 B : 3 人 C : 2 人

3 精神状態

正常－17 人

精神障害あり－62 人

精 神 障 害 あ り	1 認知		重 度	中 度	軽 度
		記憶障害	2	27	20
		失見当	3	3	22
	2	心気症状	3	7 幻 覚	4
	3	不 安	15	8 妄 想	10
	4	焦 燥	6	9 せん妄	4
	5	抑うつ状態	11	10 睡眠障害	1
	6	興 奮	33		

	重 度	中 度	軽 度		重 度	中 度	軽 度
攻撃的行動		5	19	不穏行動		11	17
自傷行為				不潔行為	2	1	3
火の扱い				失禁	4	2	12
徘徊	1	4					

以上 実施者数 79 人

13、平成 28 年度 ADL 調査集計表

調査年月日	H28 年 7 月 1 日				H29 年 1 月 1 日			
区 分	3	2	1	0	3	2	1	0
1 歩行	57	14	5	4	58	13	2	0
2 洗面	59	3	16	2	54	2	17	0
3 入浴	48	17	12	3	51	15	7	0
4 排泄	51	24	2	3	46	25	2	0
5 食事	54	24	1	1	57	15	1	0
6 視力	65	14	1	0	67	5	1	0
7 聴力	52	20	7	1	59	8	5	1
8 会話	28	34	18	0	30	27	16	0
9 行動範囲	38	17	20	5	30	20	22	1
10 寝具整理	32	14	11	23	35	13	7	18
11 私物整理	36	9	17	18	32	14	11	16
12 更衣	55	12	8	5	62	9	2	0
13 洗濯	48	3	1	28	48	7	1	17
14 清掃	41	8	4	27	39	3	6	25
15 服薬	42	3	35	0	35	1	31	6
実施人数	80 名				73 名			
未実施	3 名				4 名			
判 定	A : 48 名 60.00%	B : 15 名 18.75%	C : 17 名 21.25%		判 定	A : 46 名 63.01%	B : 10 名 13.70%	C : 17 名 23.29%
備 考	3 点（自力） 2 点（補助） 1 点（一部介助） 0 点（全介助、代行） （A）健康 36 点以上 （B）準虚弱 27～35 点 （C）虚弱 26 点以下							

14、入所者要介護認定状況

平成 28 年 4 月 1 日時点		平成 29 年 3 月 31 日時点	
要介護認定	人 数	要介護認定	人 数
要支援 1	2	要支援 1	3
〃 2	1	〃 2	0
要介護 1	1	要介護 1	1
〃 2	2	〃 2	4
〃 3	7	〃 3	9
〃 4	4	〃 4	5
〃 5	0	〃 5	0
合 計	17	合 計	22

15、長谷川式簡易知能評価スケールおよび柄澤式老人知能の臨床的判定基準の結果

① 長谷川式簡易知能評価スケール

H28.10.1 在籍者 82 名のうち 78 名に実施 ※未実施者 4 名（入院等による）
（集計結果）

入所者 82 名のうち、51 名が 20 点以下（認知症の疑いとされる）

② 柄澤式老人知能の臨床的判定基準

上記 51 名に柄澤式臨床的判定基準を実施
（集計結果）

「認知症は認められない」 9 名	
（一）知的活動が認められた人	0 名
（＋）認知症は認められない人	9 名
「認知症が認められた」 42 名	
（＋1）軽度の認知症	14 名
（＋2）中度の認知症	21 名
（＋3）高度の認知症	5 名
（＋4）非常に高度の認知症	2 名
※ 実施者 82 名のうち 51.22 %に何らかの認知症が認められる	

16、平成 28 年度 クラブ活動状況

クラブ名	回 数	延べ人数	備 考
1 家庭科	11 回	48 名	調理や手芸等を楽しむ
2 書道	11 回	105 名	各々のレベルで書を楽しむ
3 むりえ	11 回	94 名	各々の技量に合わせた素材を選択可
4 カラオケ	11 回	276 名	カラオケマシンで点数化
5 運動	11 回	164 名	様々な軽運動（ゲーム）を実施
6 川柳会の会	2 回		* 入居者主体のサークル活動

17、平成 28 年度 生活行事実施表

社会暦及びレクリエーション等			
4 月	新事業年度 みどりの日	お花見	健康診断・大寿会総会
5 月	憲法記念日・立夏 子供の日(端午の節句)	バスハイク (牛久大仏) さくらんぼ狩り	防災訓練 歯科イベント
6 月	入 梅 夏 至	ホーム喫茶 外 食レク びわ狩り	
7 月	海の日・七 夕 土 用・お 盆	ホーム喫茶	参議院議員選挙 歯科イベント
8 月	立 秋 終戦記念日	納涼会 お盆法要	
9 月	防災の日・秋分の日 敬老の日 (老人週間)	敬老祝賀会 彼岸法要	秋の大掃除
10 月	共同募金 体育の日	つるかめ運動会 外食レク	健康診断・防災訓練 歯科イベント
11 月	文化の日・立冬 勤労感謝の日	ホーム喫茶 外出レク・みかん狩り	レントゲン検診 インフルエンザ予防接種
12 月	冬 至 天皇誕生日・クリスマス	クリスマス会 外出レク	冬の大掃除
1 月	元 旦・鏡開き 七 草・成人の日	新年祝賀会 新春オセロ大会	
2 月	節 分・建国記念日 立 春	豆まき	
3 月	桃の節句 春分の日	ホーム喫茶 彼岸法要	春の大掃除 防災訓練

《主要定期行事》

<月 間> ①お祝い御膳の日 ②すまいるの会 ③月例集会 ④物故者供養 ⑤神前
礼拝⑥精神科カウンセリング ⑦保育園訪問 ⑧理容奉仕 ⑨美容奉仕
⑩上映会

<週 間> ①入浴日 ②診察日 ③シーツ交換日 ④買物注文日 ⑤歯科診察日

18、ボランティアグループ月例訪問活動状況

ボランティアグループ名	回 数	延べ人数	活動日
柏市理容組合ひかり隣保館グループ	12	89	毎月第4週（月）
ひかり隣保館美容奉仕グループ	11	28	〃 第4週（火）
柏市社協何の木グループ	12	33	〃 第3週（火）

19、その他ボランティア訪問活動状況等

	団 体 名
4 月	和菓子講習会
5 月	民謡松葉会
6 月	フレッシュシンガーズ
7 月	高校生ボランティア
8 月	
9 月	妙晃寺婦人会（扇風機の片付け）
10 月	ガールスカウト第77団
11 月	リメンバランス・シンガーズ
12 月	第一宣教バプテスト教会
1 月	
2 月	
3 月	市山流サークル松

20、短期入所利用状況（定員：4名）

①行政短期宿泊事業による短期入所

	延利用者数	延利用日数		延利用者数	延利用日数
4 月	2	9	10 月		
5 月	3	19	11 月		
6 月			12 月	1	2
7 月			1 月		
8 月			2 月	1	8
9 月			3 月		
合 計				7	38

年間平均稼働率：2.60%

（利用内訳）

契約市町村	延利用者数	延利用日数
柏市	7	38
流山市		
我孫子市		
鎌ヶ谷市		

②緊急保護短期入所（市町村との契約又は措置）

	延利用者数	延利用日数		延利用者数	延利用日数
4 月	1	30	10 月	4	53
5 月	0	0	11 月	1	15
6 月	1	20	12 月	1	31
7 月	1	19	1 月	2	31
8 月	5	55	2 月	0	0
9 月	4	115	3 月	3	18
			合 計	23	387

年間平均稼働率：26.50%

（利用内訳）

契約市	延利用者数	延利用日数
柏市	5	58
我孫子市	2	52
鎌ヶ谷市	2	40
松戸市	2	72
葛飾区	2	146
足立区	1	19

①②合計年間平均稼働率 29.10%

21、職員に関する事項

①人事

採用	9名	正職員	4名	(支援員 3、看護職員 1)
				非常勤職員 5名 (支援員 1、看護職員 2、調理員 1、清掃員 1)
退職	6名	正職員	4名	(支援員 2、看護職員 2)
				非常勤職員 2名 (看護職員 1、調理員 1)

(異動) なし

(直接処遇職員有資格者)

社会福祉士 2名 介護福祉士 12名 社会福祉主事 3名
ホームヘルパー2級 8名 看護師 2名

②外部研修 (延べ人数・日数)

県内 15名 15日間

研修に出向いた者に職員会議で他の職員に報告する機会を設けるほか、部門内で研修会を行うなど情報の共有と業務の改善に努めた。

③内部研修 (集団研修)

全 7 回、35 名参加 (外部講師、委員会研修その他)

④委員会活動

「感染症対策委員会」「環境委員会」「行事委員会」「接遇委員会」「事故防止対策委員会」「給食委員会」以上 6 つの委員会活動は正副委員長により手作りの運営され、研修活動他の部門連係で完結しない職務領域の補完を行った。

⑤職員の健康管理

健康診断 10 月他

22、給食状況

【1人1日当たり栄養所要量】

(平成28年4月～平成29年3月)

区 分	熱量 kcal	蛋白質 g	脂質 g	V.A μg	V.B1 mg	V.B2 mg	V.C mg	塩分 g
栄養基準量	1.650	55	45	550	1	1.2	100	7.5
栄養摂取量 (平均)	1606	58.6	41.4	526	0.68	0.8	88	8.4

【食 事 形 態】

(平成29年3月31日現在)

主 食	副 食	人数(人)	割 合 (%)
常食 (67)	常菜	54	66.3
	軟菜	0	0
	一口大	9	11.3
全粥 (11)	常菜	4	5
	軟菜	0	0
	一口大	6	7.5
	超刻み	1	1.2
入院者		5	6.2
計 (ショートステイ含み)		2	2.5

- 体調の変化に応じ粥食への変更（常食への復帰）など随時対応しています
- 体質上摂取できない食品のある場合、10種類以上の代替食を実施しています
- 季節の食品を取り入れ、変化とバランスを両立した献立作成に努めています

【年間行事食献立】

お祝い膳（毎月１回）		季節、旬の物を取り入れた食事を提供しています。
開業記念日 11月１日		握り寿司の提供
鍋の日 12月、1月		入居者の前で鍋料理を提供する
お好み夕食（年２回）		バスハイク不参加者について、外食し希望のメニューを楽しむ
4月	お花見 お祝い膳	桜ごはん、海老天ぶら、炊き合わせ、お吸い物 松花堂弁当、お吸い物
5月	お祝い膳	松花堂弁当、お吸い物
6月	お祝い膳 ホーム喫茶	松花堂弁当、お吸い物 たこ焼き、ケーキ、和菓子、コーヒー、ビール等
7月	ホーム喫茶 七夕 お祝い膳 土用	炊き焼き、ケーキ、和菓子、コーヒー、ビール等 散らし寿司、炊き合わせ、果物、そうめん汁 松花堂弁当、お吸い物 ひつまぶし、炊き合わせ、果物、お吸い物
8月	納涼会 お祝い膳 終戦記念日	焼そば、お好み焼き、おでん、フランクフルト、今川焼き 松花堂弁当、お吸い物 さつま芋ご飯、天ぷら、炊き合わせ、お吸い物
9月	敬老の日 お祝い膳 秋の彼岸	松花堂弁当、果物、お吸い物 (喫茶コーナー) ビール、梅酒、コーヒー、クリームソーダ あんみつ、ケーキ、アイスクリーム等 松花堂弁当、お吸い物 おやつ：おはぎ、ほうじ茶
10月	運動会 お祝い膳	おにぎり、トン汁 松花堂弁当、お吸い物
11月	開業記念日 お祝い膳	にぎり寿司、茶碗蒸し、果物、お吸い物 松花堂弁当、お吸い物
12月	クリスマス会 お祝い膳	海老ピラフ、オードブル、スープ 松花堂弁当、お吸い物
1月	元旦 七草 お祝い膳	おせち料理 七草粥、煮魚、和え物、果物、お吸い物 松花堂弁当、お吸い物
2月	バレンタイン お祝い膳 節分	チョコレートケーキ、紅茶 松花堂弁当、お吸い物 太巻き、炊き合わせ、和え物、鰯のつみれ汁
3月	ひな祭り お祝い膳	ちらし寿司、炊き合わせ、果物、お吸い物 松花堂弁当、お吸い物

【食事提供数】

	朝食	昼食	夕食	計
4 月	2,415	2651	2,415	7,481
5 月	2,558	2,793	2,558	7,909
6 月	2,497	2,674	2,456	7,627
7 月	2,487	2,685	2,460	7,632
8 月	2,517	2,709	2,501	7,727
9 月	2,484	2,673	2,464	7,621
10 月	2,439	2,564	2,415	7,418
11 月	2,342	2,572	2,342	7,256
12 月	2,430	2,617	2,413	7,460
1 月	2,308	2,541	2,308	7,157
2 月	2,064	2,282	2,057	6,403
3 月	2,309	2,530	2,302	7,141
合計	28,850	31,291	28,691	88,832
年間平均	2,404	2607	2,390	7,402

ひかり 隣保館訪問介護事業所

1、事業の概況

ひかり隣保館訪問介護事業所は要介護状態にある利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう入浴、排泄、食事介助等の援助を行った。

利用者は養護老人ホームの入居者であり、在宅支援センターひかり隣保館を中心にケアマネジメントを受け、法人内外の介護サービス事業者と連携して適切なサービスの提供に努めた。

2、職員状況

管理者：1名 サービス提供責任者：1名

訪問介護員：2.5名程度 ※（常勤換算値のため月毎に変動、養護老人ホーム支援員9名が兼業している）

3、訪問介護サービス利用者状況

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均介護度
4 月	0	3	4	4	1	12	3.3
5 月	0	3	4	4	1	12	3.3
6 月	1	3	3	5	1	13	3.2
7 月	1	2	3	4	1	11	3.2
8 月	1	2	3	4	1	11	3.2
9 月	1	2	3	4	1	11	3.2
10 月	1	2	3	4	1	11	3.2
11 月	1	1	3	6	1	12	3.4
12 月	1	1	3	6	1	12	3.4
1 月	1	1	4	4	0	10	3.1
2 月	1	1	4	2	0	8	2.9
3 月	0	0	5	4	0	9	3.4

4、サービス提供時間

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
304.1	332.7	285.2	260.7	264.3	243.0	292.8	298.2	289.2	231.3	234.5	270.5

年平均月間提供時間：276 時間